



目標の共有

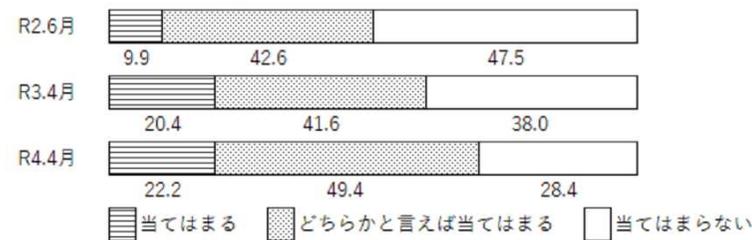
校長 作田潤一

本校は、令和2年度から、目指す姿とも言うべき重点成果指標を、生徒会執行部・委員長・副委員長が素案を設定し、職員会議を経て決定しています。この達成状況を定期的にアンケート調査を行い、その結果を生徒と教職員に周知し、課題解決にそれぞれが創意工夫して取り組んでいるところです。保護者や地域の皆様には、重点成果指標とアンケート結果をホームページで紹介しています。

業種の異なる5つの企業、1,400人161チームを対象とした調査結果の分析考察でも、「目標共有は業績を向上させ、チーム・パフォーマンスが高まる」と記されています。

本校においても次のとおり、経年比較で見たときに、ほとんどの項目で成果が見えます。課題は残っていますが、生徒、教職員、保護者がつま先を揃えた取組を行うことの効果は大きいと考えます。

学校や地域を良くするために何をすべきか考え、行動することがあります
(全校生徒の回答割合 %)



マハトマ・ガンジーは、目標を設定せよ、手段は後からついてくるという言葉を残しています。

生徒、教職員、保護者・地域の皆様と目標を共有して、生徒が社会で活躍するための力を育んでいきたいと考えます。

「なかまデイズ」

4月19日(火)から4月21日(木)にかけて1年生は宿泊教室に代わる「なかまデイズ」を実施しました。「なかまデイズ」は、入学したばかりの1年生が共同活動や集団行動を体験することで学年の一員としての自覚を高めたり、生徒同士の親睦を深めたりすることを目的としています。初日は御船中学校体育館で集団行動や学習ガイダンス、仲間づくり活動を行いました。2日目は町内ウォークラリーを行いました。これは町内の歴史的建造物や文化財、街なかギャラリー等をグループで巡る活動です。1年生は地域の方に大きな声で挨拶をしたり、ゴミ拾いをしたりしながら、地域の素晴らしさを再認識したようです。生徒の頑張りに、地域の方からお褒めの言葉もいただきました。

3日目は阿蘇青少年交流の家で活動しました。あいにくの雨でしたが、体育館で「ASOびんピック」や「阿蘇検定オリエンテーリング」で交流を深めました。「協力して楽しく学ぶことができ、とても思い出に残りました。話したことがない友達と話ことができ、友達のことをたくさん知ることができました。」などの感想が聞かれました。



家庭訪問・三者面談

今年度は1年生が軒先での家庭訪問、2・3年生は学校での三者面談を実施しました。子どもの健やかな成長のために、情報共有、意見交換をすることができました。保護者の方には、時間を作っていただきありがとうございました。

生徒総会

5月2日(月)に生徒総会が開催されました。会に先だって加納生徒会長が「3年ぶりに全校生徒が集まったの生徒総会です。今後の御船中について真剣に話し合い、生徒会の一員としての自覚を持ち、素晴らしい生徒総会にしましょう。」と挨拶しました。議事では3年生の福嶋一希君が議長として会を進めました。議案は生徒会役員、各委員長が春休みから準備をし、校長先生とも話し合いながら丁寧に作成しました。質問に対する答弁もたいへん丁寧に、リーダーとして大きな成長を感じさせました。生徒会員も議案を自分のこととして考え、御船中学校をよりよくしたいという気持ちが伝わってきました。特に第3号議案「地域恩返しプロジェクト」では議論が白熱し、各クラスから地域に恩返しをするための建設的な意見がたくさん出されました。出された意見を比較しながらよりよい案を決定することができました。生徒総会を通して、生徒一人一人が生徒会の会員であるという自覚を持ち、主体的に生徒会活動に参加しようという意欲を高めることができたようです。今後の生徒会のますますの飛躍が楽しみです。

